

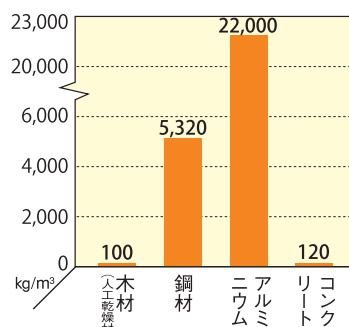
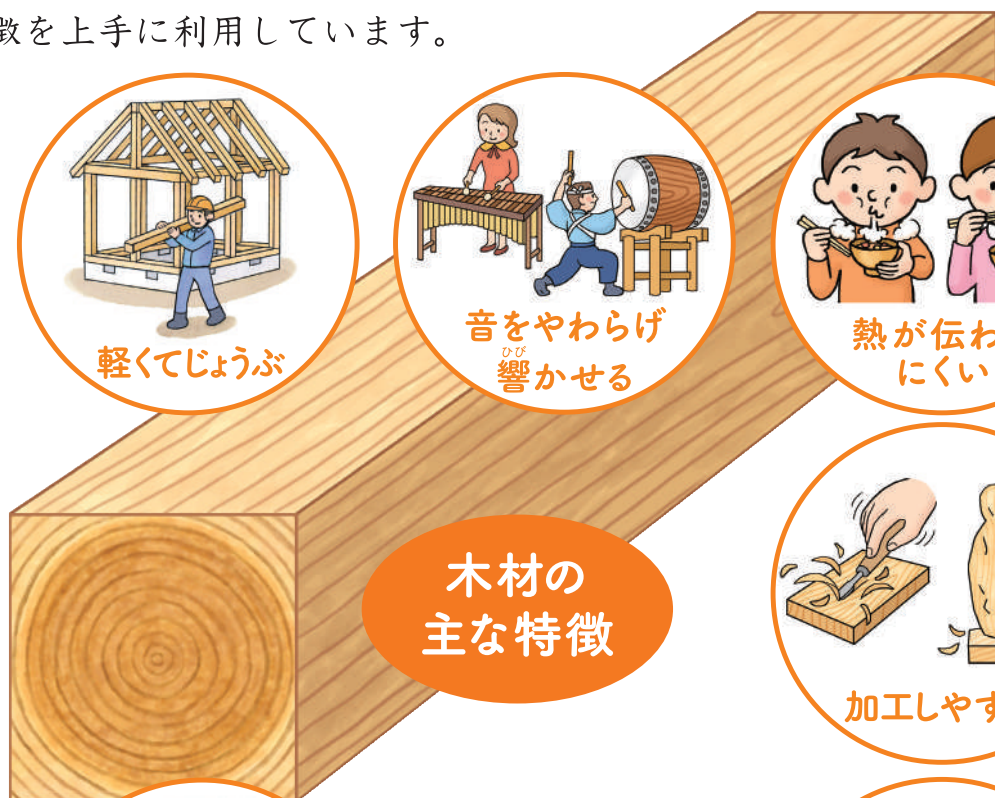
木材を使うと どんな良いことがあるの？

木材の良さを
考えてみるのじゃ！



木材は環境と人にやさしい

木材は、製材するときや、加工するときでも、環境に大きな負担をあたえることはありません。また、木を切った後に再び植林して育てることで、繰り返し生産することができます。このほかにも木材にはすぐれた特徴がいろいろあります。みなさんの周りの木製品も木材の特徴を上手に利用しています。



各種材料製造における1m³あたりの炭素放出量*1
資料：「木質系資材等地球環境影響調査報告書」（財）日本木材総合情報センター

*1: それぞれの素材で材料を製造する時の二酸化炭素の放出量を炭素に変換したグラフ。
材料の製造にエネルギーを消費すると、同時に消費したエネルギーにつり合う量の二酸化炭素が放出される。

メモ



ケヤキの木

わたしたち の家が できるまで

山で収穫された木材は、切られてすぐに家になるわけではありません。わたしたちに届くまで、様々な働く人が関わっています。それぞれの人がどのようなことをして、どのような役割があるのか、見てみましょう。



①森林所有者

山を所有し、木材となる木を育てます。



②伐採業者

育てた木を切って丸太にします。



原木市場の人のお話

山で切られた原木はせりかけられます。原木のせりには、製材所などの人たちが集まって、それぞれに買いたい木を選んで値段をつけていきます。せりをおこなって原木を売るのがわたしたちの仕事です。

③原木市場

山から運んだ丸太をせり*1にかけて売ります。



④製材所

丸太を角材や板材にします。

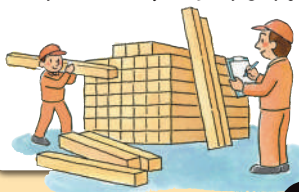


製材所のお話

丸太を四角に製材して家の材料にするのが、わたしたちの主な仕事です。製材された木材は、外にならべて約2～3ヶ月かけて自然乾そうさせるか、人工的に乾そうさせた後に家の材料になります。

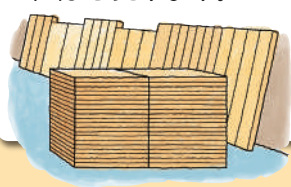
⑤製品市場

角材や板材にした木をせり*1にかけて売ります。



⑥問屋・小売店

大工さんや工務店に木材を売ります。



⑦工務店・建築士

集めた木を使って家を設計し、建てます。



*1: 商品を誰がいくらで買うか決める方法のことで、複数の買い手が値段を提示し、その中で、最も高い値段をつけた人に売られる。



ケヤキの実



ケヤキの葉